

様式 A-1  
(FY2021)

2021 年 7 月 21 日

### サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・実施責任者氏名: 千葉県立佐倉高等学校 古賀昭平
2. 講師氏名: Dr. Sasha. G. KELLER (東京大学薬理学系研究室)
3. 講義補助者氏名: 浦野泰照 教授 (東京大学薬理学系研究室)
4. 実施日時: 2021年 7月 16日 (金) 14 : 15 ~ 15 : 45
5. 参加生徒: 2年生 39人、 1年生 0人、 0年生 0人 (合計 39人)  
備考: 理数科の生徒
6. 講義題目: A short introduction to enzymes and fluorescence, or: how to see cancer
7. 講義概要: まず、講師であるケラー博士の自己紹介と彼の母国に関する紹介を日本の文化や産業などと比較しながらの案内があった。本題では、研究テーマの説明の導入として、酵素や蛍光に関する仕組みの説明があり、展開部では、代表の生徒3名とともに2つの演示実験と行いながら、がん細胞を蛍光物質を用いて発見する方法の講義があった。質疑応答も約40分行われた。  
講義は、すべて英語で行われ、質疑応答の際は、生徒からの質問に対して講義補助者の浦野教授からも日本語による詳しい説明があった。
8. 講義形式:  
対面 ・ オンライン (どちらか選択ください。)  
1) 講義時間 50分 質疑応答時間 40分  
2) 講義方法 (例: プロジェクター使用による講義、実験・実習の有無など)  
プロジェクター使用による講義、代表生徒を募った演示実験が2種類あり、  
3) 事前学習  
有 ・ 無 (どちらかに○をしてください。)  
使用教材 事前に送ってもらっていた用語集、ハンドアウト
9. その他特筆すべき事項:  
今回の対象生徒は、昨年授業の中でフルオレセインを合成し蛍光を確認するという実習を行っていたので、大変タイムリーな講義内容であり、現象としては十分理解できたと思う。  
質疑応答時に講義補助者の先生が、講師との仲立ちになり生徒への質問の回答で、英語だけでは伝わりにくい部分を日本語で解説してもらえたのでとても充実した時間を過ごすことができた。